

私たちの働き方改革宣言

私たちは、「だれもがやりがいのある仕事と充実した生活の両立が選択可能となるようなワーク・ライフ・バランス社会、それを支える政策やシステム、慣行が構築されている社会」をめざします。

私たちがめざすワーク・ライフ・バランス社会は、女性労働者の仕事と育児・介護の両立にとどまりません。男性か女性か、家族的責任を有しているか否か、正規か非正規かを問わず、すべての労働者にとっての仕事と生活のバランスの回復です。

そのため、まず各企業においては、労働時間短縮を進めるとともに、残業が恒常化し家事・育児・介護・教育や地域活動に携わる機会が極めて少ない働き方モデルを見直し、働く側にとって多様な働き方が可能となるような職場作りをめざします。

また、政策・制度面では、残業規制等のワークルール確立とともに、労働条件の均等待遇ルールの確立や最低賃金の大幅引き上げを求めています。とくに、ワーク・ライフ・バランスの名の下に労働時間管理の適用除外を広げていくことは認められません。

同時に、男性労働者が家計を支えることを前提としてきたこれまでの税・社会保障を始めとする国・社会の制度や企業の制度についても見直し、仕事面でも生活面でも男女が平等に参加していける環境を整備していきます。

喫緊の課題である子育て・介護支援策はもちろんのこと、仕事と生活の調和を阻害する企業間取引や過当競争を制限する施策の拡充を求めています。

ワーク・ライフ・バランス社会の実現には、上記の企業や国・社会における取り組みと併行して、個人やカップルの意識改革が不可欠です。

私たちは、これまでの固定的な性別役割分業の見直しや、便利さや効率だけを追求するライフスタイルの見直しを行っていくとともに、一人ひとりが仕事と生活のそれぞれの場面にしっかりと軸足を据えられるよう「働き方改革」にチャレンジしていくことを宣言します。